

備北民報

第12613号

令和3年(2021年)

7月8日 木曜日

備北民報株式会社

〒718-0003 岡山県新見市高尾2485-8

電話 0867(72)0678 FAX 0867(72)0635

https://www.bihoku-minpou.co.jp/ www.bihoku-minpou.co.jp/l/

患者の容態が急変!

岡大医療人 キャリアC 若手看護師対象にシミュトレ

岡山大学医療人キャリアセンターMUSC リアセントライトオフィースPIONEは3日、新見公立大学キャンパ

ス内の地域共生推進センター棟で若手看護師を対象にしたシミュレーショントレーニングを行い、看護

師としてのスキルアップを目指した。
新見市地域医療ミートイック推進協議会などとの共催で、平成26年度から年2〜3回行っている。この日は、市内医療機関に勤務する卒後2年目の若手看護師5人とサポー

ト役の新見公立大学看護学科教員、同大学非常勤講師で渡辺病院の溝尾妙子医師ら20人が参加。東京慈恵会医科大学救急部の万代康弘医師もリモート参加した。

同センター棟4階の真新しいシミュレーション室でのトレーニングは医療機関と同様の場面を設定。70代女性がベッドで急に意識不明になり呼び掛けにも反応がない、60代女性がベッドのそばで転倒し胸などにけがをした、80代男性がベッドで苦しがつており、いずれも血圧が低下しているなどの想定で行った。

参加者は第1発見者を交代しながら、患者への呼び掛けを継続し仲間の応援を呼び、分担して患者のバイタルサイン(脈拍、呼吸、血圧、体温など)を測定。駆け付けた医師に受け渡した。

このあと、参加者はトレーニングを振り返りながらベテラン看護師や溝尾、万代両医師の講評、アドバイスに耳を傾け、この日の経験を今後の医療に生かすことを誓った。

(逸見)



トレーニングを行う卒後2年目の看護師ら